



うちわに乗せて涼やかに



コウモリは日本ではラッキーシンボル。

巡る季節に思いを馳せる(盛夏編)

涼やかな夜を楽しむ日本の形



もんきり通信
2020・望月号

梅雨明けの夜空にきらきら輝く月や星。
日本の家紋のモチーフにもなっています。
紋切りを作ってご先祖様も眺めた夜空を感じてみませんか？



- 七夕やお盆、月見など、日本の10の伝統行事がもんきりあそびで楽しめるミニキット。活用の提案も充実。

【紋切り型】mini

『紙あそび歳時記 日本の行事』 800円(税別)



- シリーズ最多、型紙63種収録でお得！月星日など天にまつわる紋や、初期シリーズい之巻〜へ之巻を再収録。

『紋切り型 天の巻』 1200円(税別)



- 紙を蛇腹折りにして型紙のとおりに切るだけで、きらきら輝くように見える、七宝や星七宝などの連続文様が切れる。

『新版 文様切り型』 1200円(税別)



- 西洋の意匠を取り入れた、モダンでおしゃれな紋切りができる。★の星の紋やコウモリ、きらめくような唐草紋も切れる。

『紋切り型 昭和モダン』 1200円(税別)



こちらもおススメ！



暦の上では8月は秋。秋の気配を感じる草花や月見にまつわる紋が切れる。

紋切り型 月之巻

1200円(税別)

- カードブック 15葉
- 和紙切り紙用紙 100枚(15色)
- 型紙24種



厄除けやすすく育てなど、切り紙で手軽なお守りが作れる

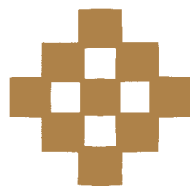
【紋切り型】mini 紙あそび歳時記 お守りもんきり

800円(税別)

- リーフレット6枚
- 和紙切り紙用紙 15枚(10色)
- 型紙28種



九ツ石



● もんきり文様ずかん

平安時代から公家の間で「石畳^{いしだたみ}」や「霰^{あられ}」と呼ばれてきた。江戸時代には「敷瓦^{しきがわら}」とも。歌舞伎役者初代佐野川市松が、この文様を白と紺で染め抜いた袴を着て大流行。町行く女性がこぞって同じ文様の小袖を着たという。以来「市松」の呼び名が一般的になった。桂離宮のふすまなど建築の意匠にも使われ、はっと息を飲む斬新な効果を上げている。この紋の名前は「九ツ石」。『紋切り型 ものづくり』、『いろはにもんきりあそび』でつくれます。『新版 文様切り型』では、連続文様で「石畳」が切れます。

より見やすく、便利に！

エクスプランテのウェブサイト



<http://www.xpl.jp/>



- ネットショップもご覧下さい。クレジットカード、銀行振込、コンビニ支払が使えるようになって便利になりました！

- SNSで情報発信中！

楽しみ方の提案やアイデアをたくさん掲載しています。